

あおぞら

発行:愛知県被災者支援センター

住所:名古屋市東区泉 1-13-34

名建協 2 階

TEL:052-971-2030

FAX:052-971-2050

開館:月曜～金曜 10 時～17 時



<濱田農園農作業体験交流会>



ビワの実採り

<里山を歩く会@鶴舞公園 6月の菖蒲園>



紫陽花(Tさんのマンション)

あの人の ひ・と・こ・と 〈交流会アンケートより〉

(能登半島地震の避難者の話を聞いて) 私も東日本大震災以降福島を離れ、愛知県で生活を始めた時の事を思い出しました。

こちらに来た時は、「また福島に住みたい」と思っていたのですが、子育て中心の時間を愛知で過ごした今は、「ここで頑張ってみよう」と思いが変わってきました。

濱田農園には愛知に来た時からお世話になり、私が避難してきて頑張ってきたのは、皆さんの支えのおかげだと思っています。あの時の事を話せる場は濱田農園しか無いので、末長くよろしくお願いします。(避難元:郡山市 刈谷市 S.M)

【2025 年 7 月号 159 号】

も く じ

P1.表紙:交流会の写真、あの人のひとこと

P2～3. 交流会報告

①濱田農園農作業体験交流会、

②甲状腺エコー検診&交流相談会

P4. 〈ユースの眼〉 東日本大震災・語り部

P5. 飛島学園・防災授業での語り部

P6. おすすめのスポット・鶴舞公園、

「じんのび能登カフェ」、さっちゃん
のレシピ

P7. おすすめの一冊:『わたしが正義について語るなら』(やなせたかし)

P8. イベント情報、ウクライナ避難者の動き、編集後記

濱田農園農作業体験交流会 6/8（日）@知多郡東浦町緒川 濱田農園

梅雨に入る間際で天気が案じられましたが、6/8(日)午前9時過ぎ、参加者の自己紹介の後、さつまいも苗の植え付けの説明を聞き、皆で協力して予定通りに苗の植え付けを終えました。他にも、農園のいちご摘み、ビワの収穫も楽しみました。参加者は3世帯5名、他ボランティア等合わせ総勢19名でした。

【農作業の様子と参加者の感想】



〈さつまいも苗植え付けの説明。芽の所から芋が生える〉

今日も楽しくさつまいも苗植えをし、汗を流してスッキリしました。
心のこもったパンにお料理、味玉も大変美味しかったです。ごちそうさまでした。
娘は、「ビワ採りが楽しかった♥」と言っておりました。濱田さんのハーモニカ演奏、とても素敵でした。またぜひ聴きたいです。
皆さんとお話しできたのも嬉しかったです。
今日もありがとうございました

(避難元:川俣町 名古屋市緑区 Y.H)

サツマイモの苗植え参加させて頂き、ありがとうございました！ 濱田さんのハーモニカ、美味しいランチ、苗植え、苺とり、ビワ採り、ヨモギ採り…と、優しくも楽しいお仲間に出会え、何をやっても楽しかったです♥ ボランティアの皆様のご尽力あってのこの素敵な集いだと、参加する度に感謝しております。いつもありがとうございました。秋の収穫が今から楽しみです。

(避難元:白河市 名古屋市緑区 Y.A)

初めて参加させて頂きました。サツマイモの苗植えは初めてなのに、ずっと前から交流があったように仲間に入れて頂き、とっても感謝しています。(右列→)



〈作業後の昼ご飯。鶏ごはん和餃子スープ、差し入れ手づくりパンも「おいしい」と好評〉



〈あれこれ、近況、楽しいおしゃべりタイム〉



〈濱田さんの
ハーモニカ演奏〉

〈さつまいも苗植え〉



畑で皆さんと頂いた久しぶりの美味しいランチ、忘れません。ご馳走様でした。温かい真心、私の宝物です。ありがとうございました。

甲状腺エコー検診&交流相談会 6/29(日)@千秋病院(一宮市)

愛知県民主医療機関連合会と愛知県被災者支援センターの共催で、甲状腺エコー検診&交流相談会が6/29(日)10:00 から 15:00 に、一宮市の千秋病院・在宅総合ケアセンターで開催されました。

【甲状腺エコー検診】

検診には 12 世帯 22 名が受診され、民医連の医師、看護師、検査技師、放射線技師等スタッフ 15 名が当たって下さいました。待ち時間には、在宅保健師、スタッフが近況等を伺ったり、相談がある方には個別相談や交流企画へお誘いの声掛けをしました。

【あおぞら交流相談会】

お楽しみ企画の吉野杉のお箸袋作りとバラジャムづくりを、また一宮市のボランティアグループ・森の合唱隊の皆さんにはストラップや手作り工作を教えていただき、参加者の皆さんは思い思いに楽しめました。

個別相談は、暮らしや健康などに関して、医師、看護師、臨床心理士、在宅保健師、弁護士、多文化ソーシャルワーカー等に相談。今回は名古屋葵大学看護学科の学生の参加があり、参加者の皆さんに寄り添い、交流テーブルで話を聞いたり。

健康講座では、専門家の皆さんから健康に関する情報提供をしていただきました。



甲状腺エコー検診と医師の説明

〈看護学生のアンケート抜粋〉

○普段机に向かって勉強している時には学べない、感じられないことをたくさん実感することができた、とても貴重な機会となりました。参加された方々の笑顔を目にしたり、実際に多くの職種の方々が連携、支え合っている姿を見て、自分も将来、このように人々の笑顔を目指して働きたいと、夢がふくらみました。

○参加者の方々とたくさんお話しすることができて、よかったです。皆さんが「久しぶり！」と近況を話し合われている様子が印象に残りました。

○今日、話を聞いて学んだことを、今後活かしていけるように頑張りたいです。

○今日学んだ災害の支援、今後どう看護に生かしていこうか、考えようと思った。



5月21日に、被災者支援ボランティアセンターなごやの語り部事業として、円上中学校(名古屋市昭和区)1年生の防災学習で、2011年の東日本大震災・福島原発事故による被災体験・避難体験を、子どもだった時の体験をお話されました。その体験を通した想いを「ユースの眼」で綴っていただきました。

<震災の記憶は鮮明に>

今回、私は中学1年生の皆さんに向けて、東日本大震災の体験をお話する機会をいただきました。震災から長い年月が経った今でも、震災があったときの記憶は鮮明に心に残っています。当時の私が、地震が起こったあのときどこにいたのか、その後の避難生活から今までについて、自分の気持ちとともにお話ししました。

<新しいところで…仕事…学校…>

当時私はまだ小学1年生で、突然の揺れやその後もどうしていいかわからず、とても大きな恐怖を感じました。当日の夜から家族と一緒に祖母の家に避難し、4世帯が一緒に暮らす生活は、安心感もある一方で、気を遣う場面も多く、幼いながらに“大変だな、窮屈だな”と感じる毎日でした。避難所には行かず済んだものの、自宅を離れての生活は辛いこともたくさんありました。放射能の影響が心配される中で、暮らしの場を移したことで「もう心配しなくていい」と思えたことは嬉しかったのですが、両親は新しい土地での仕事探しや生活にすぐには馴染めず、家の中にはどこか暗い空気が流れていました。私自身も学校での生活で不安やさみしさを感じていたものの、家庭の雰囲気や親の気持ちを考えると、「自分もつらい」と言い出すことができずにいたこともありました。

<自分の経験と向き合う>

そのような時期を乗り越え、大学生になった今、少しずつではありますが自分の経験と向き合えるようになりました。そして今回のように、誰かに向けて自分の経験をお話させていただくことは、当時の思いや、そこからの変化を振り返ることができ、私にとっても大切な時間になっています。

<自分事として>

講話のあと、生徒さんの一人が「聞いていて楽しかったです」と直接感想を伝えに来てくれました。

震災の話聞いて“楽しかった”という感想は意外でしたが、素直な気持ちを伝えてくれたことがとても嬉しかったです。話を楽しく聞けたと感じてもらえたということは、少しでも前向きな姿勢で受け止めてもらえたのかなと感じています。また、後日いただいた皆さんからの感想の中には、「自分だったらどうするかを考えた」「自分の周りの人のことも思い浮かべた」など、自分事として考えてくれたことがわかる言葉がたくさんあり、とても心に残りました。

今回お話をいただいてから、震災を知らない世代に自分の経験をどう伝えればいいのか、正直とても悩みました。でも、話を真剣に聞いてくれる姿や、感想を素直に伝えてくれる子どもたちの姿を見て、「お話してよかった」と心から思いました。

<命を第一に、備える、知る、忘れない>

私が今回大切にして皆さんに伝えたことは、まず「命を第一に守ること」。そして、「備えることの大切さ」。この二つは当たり前のようで、とても大切なことです。さらにもう一つ、「震災を“知ること”、そして“忘れないこと”」の大切さも伝えました。被災者の思いは一人ひとり異なります。私の話がすべてではないということ、被災した人の気持ちは人それぞれであるということも、ぜひこれから心にとめてほしいと思います。

<「ありがとう」や「大好きだよ」と>

そしてもう一つ、今、大切な人がいるなら、ぜひ「ありがとう」や「大好きだよ」と日頃から伝えてほしいということ。いつ何が起きるかわからないからこそ、日々の当たり前を大切にして生きていてほしい。そんな願いを込めて、お話をしました。

短い時間ではありましたが、何か1つでも、今日のことを心に留めておいてもらえたらとても嬉しいなと思っています。

飛島学園・9年生の授業(防災グループ)で語り部ボランティア

昨年度も飛島村の飛島学園・9年生(中学3年生)の防災の授業で、東日本大震災の避難者の方々が体験を生徒たちに伝えましたが、今年度は防災に関心のあるグループでの取り組みで、西村淳一さんが語り部としてお話されました。その時に準備された資料をお借りしましたので、その一部をご紹介します。

「震災体験と避難生活から得たもの

～そして 名古屋に住む人へのメッセージ」

(避難元:宮城県山元町 名古屋市守山区)西村淳一さん



●宮城県・山元町の震災被害状況<西村作成>

- ・地震発生: 14:46—震度6強(M9.0)-地震動6分以上継続
- ・津波来襲: 15:50
- ・人的被害: 死者635人(全人口の約4%)
- ・家屋被害: 全壊2,217棟、大規模半壊534棟、半壊・一部損壊1,689棟
- ・浸水面積: 総面積の37%
- ・我が家の被害: 全壊(一階は全滅、二階の物は救済)



●避難先(母のデイサービス施設)

- ・乳児・高齢者がいたため家族で畳の部屋を使用した
- ・避難者で役割分担—食事作り、水汲み等
- ・生活パターン: 日の出と共に起き、日の入りと共に寝る



●名古屋への帰路(避難ルート)

- ・原発の爆発(放射能拡散):
原発から60キロ、里帰り中の娘と孫を守るため、
できるだけ早く名古屋の自宅へ送り届ける
- ・名古屋へのルート検討
山元町→山形市→鶴岡市→新潟市→松本市→名古屋市
名古屋市の娘宅・家族の許に送り届けられた



<自宅は全壊>

●震災を通して感じたこと

- ・逃げ口の確保—窓・ドアを開ける
- ・家具類(テレビも)の転倒防止—突っ張り棒等
- ・非常用持ち出し袋の準備と定期点検
- ・毎日の服用薬のリスト作成と非常持ち出し袋へ封入
—お薬手帳のコピー等



今回防災の講師として話をさせていただきましたが、私の話の内容が生徒さん方の望んだ内容に合っていたのかどうか、少し不安感が有りました。ぜひ項目を絞り、大いにご検討ください(西村)。

『おすすめのスポット』 名古屋市・鶴舞公園(つまこうえん) 花だより

「一段と美しくなった花菖蒲と紫陽花に、称賛の声をささげました!」(6月「里山を歩きましょう」例会)



①花菖蒲



②薔薇



③紫陽花



④カシワバアジサイ
(ニシさんのベランダ)

じんのび能登カフェ「能登半島地震避難者 交流相談会」6/15(日)@農業文化園・戸田川緑地

- お楽しみ企画—じゃがいも収穫・寄せ植え体験
- 全体交流—自己紹介、石川県・情報提供
- 個別相談—専門家(弁護士・司法書士・臨床心理士・在宅保健師)



ジャガイモ掘り「土いじりが懐かしい」 石川県「暮らしとコミュニティの再建」「1年迷って、帰りたいけど帰れない」

《 さっちゃんのレシピ 味噌のシソの葉巻き 》

【材 料】青じその葉(大葉)30枚、味噌 100g、レーズン 100g、クルミ 100g、油適宜

【作り方】①青じそはきれいに洗い、水を切っておく

②レーズンとクルミは細かく切る

③フライパンに油をひき、味噌と②を混ぜながら弱火で練り合わせる
(焦げ付きそうな場合は油を足す)。あら熱をとる

④①を広げ(葉先を向こう側)、手前の方に③を棒状(長さ5~6cm直径
1cm程)に置き、手前からクルクル巻く。

⑤全部巻き終わったら、フライパンに油を引き、弱火で④の表面を焼き揚げる

※出来上がってすぐよりも、日にちが経った方が味がまろやかになります。

※日持ちするので、沢山作って冷蔵庫で保存して置くと△(おにぎり)の具などに使えます。



（あおぞら編集委員 瀧川裕康）



4月からNHKの朝ドラ『あんぱん』を妻と一緒に観ています。アニメ『それいけ！アンパンマン』は殆ど観たことがありませんが、作者のやなせたかしに興味があって、観ることにしました。

6月の放映では、軍隊生活が描かれていて、殴る光景が頻繁にあります。私が子どものころ、親に連れられて見た軍隊生活の映画でも、頻繁に殴る光景がありました。つい最近まで大学の体育会系でも殴るのが当たり前で、怖くて嫌でした。

◎「アンパンマン」とやなせたかし

この『わたしが正義について語るなら』は、『アンパンマン』を生み出したやなせたかしの人生哲学です。「今、ぼくたちが生きている社会は、世界の戦争や環境問題、不安な政治、殺人事件、怒りの気持ちになることが毎日起こっています。でもぼくは多くの人を喜ばせたい」、「ぼくが何かをやりようとしたら、まず飢えた子どもを助けることが大事だと思った。それが戦争を体験して感じた一番大きなことでした」と書かれています。

何と解りやすい主張でしょう！更に、「正義というものは、あやふやなものということです」と。『アンパンマン』には、悪役の「ばいきんまん」の他にも2,000のキャラクターがありますが（『アンパンマン大図鑑』参照）、どれもあいまいな役割になっているようです。つまり、善良な人は完全な善ではない、悪もその通り。

◎子どもたちのヒーロー「アンパンマン」

大人の私はアンパンマンを面白いと思いませんでしたが、幼稚園や保育園では大人気で、図書館ではいつも貸し出し中、新刊を入れてもすぐにボロボロになる、のだそうです。

「アンパンマン」はヒーローで、スーパーマンですが、食べ物なので、顔が雪や水に少しぬれても、すぐに力が出ないと、情けなくダウンしてしまいます。得意のアンパンチで敵の「ばいきんまん」を殺すことはない。「ばいきんまん」は死ぬことなく、自分の家に帰ってしまうだけらしい。

次の表現も好きな表現です。「アンパンマンは、自分の顔を食べさせるのだから、ある面では自己犠牲です。正義を行う場合には、本人も傷つくということを、ある程度覚悟しないといけません」

正義とは何で、正義の味方とはどのような人なのか。戦争を生き抜き、国民的ヒーロー「アンパンマン」を生み出したやなせたかしが、その半生を通じて向き合った「正義」のあり方とは、混迷の時代に生きる勇気をもらえる、やなせ流の人生哲学です。

◆やなせたかし：

1988年アニメ『それいけ！アンパンマン』が放映され爆発的な人気となる。作詞家としての代表作は『手のひらを太陽に』が有名。



「ごめん駅」：

朝ドラ『あんぱん』の中で、高知に「ごめん駅」が出てきますが、本当にあったらしい。この「後免駅」（南国市 JR 四国・土佐くろしお鉄道）から200メートルの所に、やなせたかしはお住まいだったとのこと。2013年没。

【イベント情報】 ＊開催・内容等が変更になることがあります。詳しくはチラシでご確認ください。

開催日	イベント名	内容（主催など）	会場
8/9（日） 10:30～12:30	あおぞらカフェ 「利き茶」で猛暑を 乗り切りましょう	猛暑の夏、水分補給を楽しく！ (主催：あおぞらカフェ実行委員会 共催：愛知県被災者支援センター)	レスキューストックヤード(名建協 2 階) 地下鉄名城線・桜通線「久屋大通」1A 出口徒歩 3 分
10/5（日） 10:00～15:00	岩手県・宮城県 気軽にお茶飲み交 流会	全体交流、公園散策、笑いヨガ、 相談会等(主催:気軽にお茶飲み交 流会実行委員会、共催:愛知県被災 者支援センター)	東海市しあわせ村・保健福 祉センター1 階 名鉄・聚楽園下車 5 分(準 急・普通のみ停車)

ウクライナ避難者の近況（あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク：

事務局レスキューストックヤード）

【ヴィシヴァンカ(ししゅうの民族衣装)の日・デモと集会】 5/31(土)@栄 ↓(JUCA の HP:メーテレ放映より)

ウクライナでは 5 月の第 3 木曜日が
伝統的な衣装「ヴィシヴァンカの日」。
ヴィシヴァンカは家族の無事を祈る刺繍。



【能登半島地震被災地・穴水町でボルシチの炊出し】

6/6～7（写真提供：日本ウクライナ文化協会・JUCA）



【編集後記】

- ・勤め先の高齢者施設での事。車いすに乗ってお風呂から出て来られた利用者さんの顔を見て、ビックリ！まるで仮面舞踏会？それともオペラ座の怪人？よく見ると、顔に真白いパック。そうなんだ、ここでもお肌の手入れは怠らずにやっていたらっしゃるのだ。見習わなくっちゃ～（T.S）
- ・よく歩き 歩数計では 5,000 歩に 実感歩数 1 万歩だが / 今日は夏至 話題にならず それよりも すごい猛暑が 身体に堪え / 夕ご飯 すぐに作れる カレーライス 旨くないねと けなされ辛い（T.H）
- ・ホテルの時期になると思い出す。戦後 10 年程の小学生の頃、夕食を済ませた子どもたちが杉の葉を束ねたものを持ち、小川に集まってくる。川べりの草や枝の下を杉の束で探ると、蛍が何匹も見つかる。それを蚊帳の袋に入れ、皆で飽きず蛍狩りを続ける。ゲンジボタルの大きな光、ヘイケボタルの小さな光。これを買取のお婆さんの家へ持っていく。手に 25 円とか 30 円とか握りしめ、にんまりと家へ帰る。「あの蛍は、町の子たちがデパートで買うんだって」。子どもだった頃の時代の思い出（T.K）